

第一卷第一号 (昭和15年4月刊行)

創刊の辞……………岡田文秀……………1~2

〔研究〕

最近各国人口政策概観……………北岡寿逸……………3~13

〔資料〕

安定人口の計算……………中川友長……………14~20

大正九年・大正一四年・昭和五年・昭和一〇年道府県別及市郡別標準

化出生率、死亡率及自然増加率……………{ 館 上 稔 夫 ……21~28

佛国家族法典……………北岡寿逸……………28~47

婚姻表について……………岡崎文規……………47~54

〔紹介〕

ライト著「人口と平和」(北岡寿逸)……………55~58

北米合衆国都市社会階級別出産力及再生産力に関する一報告(館 稔)……………58~63

水島博士「内地六大都市の真の人口自然増加率」(館 稔)……………63~64

クッチンスキー著「生活領域と人口の諸問題」(島村俊彦)……………65~68

第一卷第二号 (昭和15年5月刊行)

〔研究〕

将来人口の計算に就て……………中川友長……………1~13

〔資料〕

西班牙及ハンガリーに於ける家族手当……………北岡寿逸……………14~16

特殊婚姻率算定の基礎としての無配偶人口……………岡崎文規……………16~24

国勢調査間年次に於ける男女年齢別人口の推計(一)……………{ 館 上 稔 夫 ……24~39

分村計画と実績事例——香川県綾歌郡栗熊村——……………北山正邦……………39~48

一九三九年独逸国勢調査による現住人口及世帯数(速報)……………島村俊彦……………48~53

〔紹介〕

スベングレー著「フランスの人口減少問題」(北岡寿逸)……………54~58

レッドウェイ著「人口減少の経済」(北岡寿逸)……………58~60

朝鮮農村社会衛生調査会編「朝鮮の農村衛生」——慶尚南道蔚山邑達
里の社会衛生学的調査——(北山正邦)……………60~61

満鉄調査資料第九編「支那に於ける聚落(人口)分布の研究」——山
東省——(北山正邦)……………62

第一卷第三号 (昭和15年6月刊行)

〔研究〕

『満洲に於ける移動人口=労働力としての苦力』其の一……………小山栄三……………1~31

〔資料〕

徳川時代の出生率及死亡率——其若干の事例——……………関山直太郎……………32~43

国勢調査間年次に於ける男女年齢別人口の推計(二)……………{ 館 上 稔 夫 ……43~55

〔紹介〕

フェレンチ著「総合的最適人口論」(北岡寿逸)……………56~59

フェーアチャイルド著「人口の数と質」(北岡寿逸)……………59~62

第一卷第四号 (昭和15年7月刊行)

〔研究〕

『満洲に於ける移動人口=労働力としての苦力』其の二……………小山 栄 三…………… 1~38

〔資料〕

ブルグドェルファー著「白色民族は滅亡するか？」(一)……………本 多 龍 雄……………39~49

国勢調査間年次に於ける普通世帯人口及普通世帯数の推計……………
 { 館 上 田 正 稔 夫 }……………49~51

〔紹介〕

トイトマス著「貧乏と人口」 副題「現代に於ける社会的浪費に関する実証的研究」(北岡寿逸)…………… 52~55

マーシャル著「人口問題に関する英国民衆の考へ」(大月照江)……………55~60

支那及満洲に於ける将来人口の推定(小山栄三)……………60~70

第一巻第五号(昭和15年8月刊行)

〔研究〕

優生手術について……………青 木 延 春…………… 1~19

〔資料〕

昭和一〇年内地一二七市標準化出生率,死亡率及自然増加率(予報)……………
 { 館 上 田 正 稔 夫 }……………20~27

ライティンガー著「英国の対独戦争途上に於けるフランスの生物学的並に経済的自殺」……………本 多 龍 雄……………28~38

ブルグドェルファー著「白色民族は滅亡するか？」(二)……………本 多 龍 雄……………38~45

〔紹介〕

ムーカージー著「四億萬人に対する食料計画」(北岡寿逸)……………46~51

アウエルハーン稿「高齢人口の統計的研究」(本多龍雄)……………51~57

ウォルフガング・ヨブスト「結婚貸付金制度の人口政策的効果」(雪山慶正)……………57~63

第一巻第六号(昭和15年9月刊行)

〔研究〕

幕末筑後国一農村の人口状態に就て……………関 山 直 太 郎…………… 1~13

〔資料〕

長野県諏訪郡A村及びB村の死産に就て……………岡 崎 文 規……………14~17

最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向(予報)(一)……………
 { 館 上 田 正 稔 夫 }……………17~51

スタインワルネル著「北米合衆国の入種政策」……………横 田 年……………52~58

〔紹介〕

Huber, Bunle, Boverat. 共著「フランスの人口」(北岡寿逸)……………59~63

日満農政研究会発行「日満農政研究会報告」(北山正邦)……………63~69

フォン・ウンガルンニシュテルンベルヒ著「出生減退の原因に就ての研究」(雪山慶正)……………67~72

クローゼ稿「和蘭に於ける生産減退」(本多龍雄)……………72~74

第一巻第七号(昭和15年10月刊行)

〔出産力調査速報特輯号〕

出産力調査結果の概説……………岡 崎 文 規…………… 1~95

第一卷第八号 (昭和15年11月刊行)

[研究]

婚姻と出生……………中川友長……………1~14

[資料]

最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向 (予報) (二)……………
 { 館上 田 正 稔
 窪 田 嘉 夫……………15~47
 ツァーン著「家族及び家族政策」……………島村俊彦……………47~60

[紹介]

スエーデンの人口問題及人口政策 (北岡寿逸)……………61~65
 医学博士渡辺 定, 理学士川井三郎共著「日本人の寿命に関する研究」
 (北岡寿逸)……………65~70
 カイザー著「独逸人口史」(本多龍雄)……………70~81

第一卷第九号 (昭和15年12月刊行)

[研究]

婚姻統計概説……………岡崎文規……………1~13

[資料]

人口都市集中の地域的形態に関する一つの資料 (概報) ——都市人口
 の出生地別構成……………
 { 館上 田 正 稔……………14~34
 窪 田 嘉 夫……………14~34
 独逸の厚生事業と人口政策……………大月照江……………34~43

[紹介]

トムソン「支那に於ける人口動態統計調査の経験」 一九三七年巴里
 国際人口会議に於ける報告 (北岡寿逸)……………44~47
 パール稿「老ひゆく人口」(島村俊彦)……………48~57

第二卷第一号 (昭和16年1月刊行)

[研究]

熱帯の風土的条件と移民適格性の諸問題 (一)……………小山栄三……………1~38

[資料]

最近に於ける我が国死亡率の若干の傾向 (予報) (三)……………
 { 館上 田 正 稔……………39~43
 窪 田 嘉 夫……………39~43
 梅毒蔓延状況の地方別観察……………横田 年……………43~58

[紹介]

李 景漢著, 能久屋徳美訳「農村家庭人口の統計的分析」(北山正邦)……………59~63
 プルグドエルファー著「第三帝国に於ける人口発展」(本多龍雄)……………63~68

第二卷第二号 (昭和16年2月刊行)

[研究]

熱帯の風土的条件と移民適格性の諸問題 (二)……………小山栄三……………1~32

[資料]

都市人口補給源としての「仮想的背地」の決定に関する一考案……………
 { 館上 田 正 稔……………33~43
 窪 田 嘉 夫……………33~43
 多産者家系調査報告 (第一回)……………横田 年……………43~49

[紹介]

ムーア著「伊太利の第四の海岸, リビアに於ける伊太利の大量植民」

(北岡寿逸)50~54

第二卷第三号 (昭和16年3月刊行)

〔研究〕

人口増加と失業との関係に就ての諸説の研究.....北岡寿逸.....1~16

〔資料〕

徳川時代の婚姻年齢に関する一考察.....関山直太郎.....17~26

社会環境が乳幼児の発育に及ぼす影響に関する一考察.....笠間尚武.....26~51

〔紹介〕

ロデリッヒ・フォン・ウンガルン=シュテルンベルヒ稿「佛蘭西の民

族生物学的衰退(雪山慶正).....52~56

第二卷第四号 (昭和16年4月刊行)

〔研究〕

初婚者の職業別婚姻年齢.....岡崎文規.....1~9

〔資料〕

埼玉県一農山村に於ける家系調査(第一報).....横田年.....10~15

ナチス転業対策について——「労働配置」政策を中心として——.....雪山慶正.....15~26

ナチス民族人口政策摘要(一).....本多龍雄.....26~36

〔紹介〕

ローゼンベルグ著『廿世紀の神話』(本多龍雄).....37~42

第二卷第五号 (昭和16年5月刊行)

〔研究〕

所得階級による死亡の変動 附 所得階級別婚姻及出生の状況.....{児山千秋.....1~32
{中川友長(校閲)

〔資料〕

社会生物学的見地より見たる満洲開拓農村 第一報 開拓農村に於ける

結婚及妊娠出産に就て.....笠間尚武.....33~43

ナチス民族人口政策摘要(二).....本多龍雄.....44~57

〔紹介〕

L・ハムブルガー著「ナチス・ドイツは如何にして労働力を動員し、

統制したか」(雪山慶正).....58~66

第二卷第六号 (昭和16年6月刊行)

〔研究〕

独逸に於ける婚姻貸付金の効果に就て.....島村俊彦.....1~65

〔紹介〕

布哇に於ける邦人家族の構成に就て(大月照江).....66~72

第二卷第七号 (昭和16年7月刊行)

〔研究〕

初婚者の結婚費.....{岡崎文規.....1~9
{根村當三郎

〔資料〕

社会生物学的見地より見たる満洲開拓農村 第二報・開拓農村人口の

年齢構成に就て.....笠間尚武.....9~24

ナチス民族人口政策摘要(三・完)……………本多龍雄……………24~38
〔紹介〕

戦時下一九四〇年独逸の人口動態(本多龍雄)……………39~44

第二卷第八号(昭和16年8月刊行)

〔研究〕

徳川時代全国人口の再吟味……………関山直太郎……………1~15

〔資料〕

多産に関する二、三の統計的観察……………横田年……………16~23

事変下に於ける我が国労働人口構成の変動……………雪山慶正……………23~36

〔紹介〕

ベヴァリッジ著「戦時経済統制の経験」(河野和彦)……………37~43

第二卷第九号(昭和16年9月刊行)

〔研究〕

婚姻率の変動……………岡崎文規……………1~12

〔資料〕

結婚挙式日と婚姻届出日との間隔……………{岡崎文規
根村當三郎……………13~15

独逸に於ける児童扶助金制度の改正と最近各国の強制家族手当制度の

概観……………本多龍雄……………15~25

北米合衆国に於ける人口政策の動向……………河野和彦……………25~32

〔紹介〕

ウンゲルン・シュテルンベルグ著「生物学と経済学——出産減退の原

因及び結果と民族生物学的没落への対策」(本多龍雄)……………33~42

第二卷第十号(昭和16年10月刊行)

〔研究〕

妻の婚姻年齢と出生との関係に就て……………{中川友長
児山千秋……………1~30

〔資料〕

最近各国の強制家族手当制度の概観(追補)……………本多龍雄……………31~35

〔紹介〕

米国の婦人労働状態に就て(一)(大月照江)……………36~53

第二卷第十一号(昭和16年11月刊行)

〔研究〕

前歐洲大戦時に於ける独逸を中心とする諸国の人口情勢……………島村俊彦……………1~48

〔資料〕

本邦母性死亡の統計的観察……………笠間尚武……………49~87

〔紹介〕

米国の婦人労働状態に就て(二)(大月照江)……………88~106

第二卷第十二号(昭和16年12月刊行)

〔研究〕

出生率の地域的差異に関する一考察……………横田年……………1~23

〔資料〕

- 支那事変の乳幼児身体発育状況に及ぼしたる影響に就いて……………梅澤菊枝……………24~42
女子の未婚残存率に就て……………大月照江……………43~57

〔紹介〕

- 米国の婦人労働状態に就て(三)(大月照江)……………58~78

第三卷第一号(昭和17年1月刊行)

〔調査研究〕

- 初婚者の結婚費——大阪市に於ける調査の結果について……………根村當三郎……………1~15
農家人口に関する一観察……………内藤雅夫……………15~30

第三卷第二号(昭和17年2月刊行)

〔調査研究〕

- 人口再配分計画の基礎として見たる人口増殖力の地域的特性……………館稔……………1~40
民族立法としての人口政策 其の一——二三の方法論的省察——……………本多龍雄……………40~44

第三卷第三号(昭和17年3月刊行)

〔調査研究〕

- 農家に於ける初婚者の結婚費用……………岡崎文規……………1~6
支那事変当初年の婚姻数増大原因の分析……………関山直太郎……………6~11
多産者家系調査報告(第二回)……………横田年……………12~20

第三卷第四号(昭和17年4月刊行)

〔調査研究〕

- 人口のロヂスチック曲線について……………中川友長……………1~14
オトマール・シュパン著『私生児の状態とその運命』……………雪山慶正……………15~34
夫の婚姻年齢と出生との関係に就て……………児山千秋……………35~39

第三卷第五号(昭和17年5月刊行)

〔調査研究〕

- 府縣別人口動態の趨勢……………岡崎文規……………1~5
事変後に於ける東北農家の分化道程に関する若干の観察……………内藤雅夫……………6~20

第三卷第六号(昭和17年6月刊行)

〔調査研究〕

- 十八歳未満の子女の分布……………{関山直太郎……………1~13
祖上鋭夫
英国の対印度植民政策(其の一)……………島村俊彦……………14~25

第三卷第七号(昭和17年7月刊行)

〔調査研究〕

- 平均結婚年齢の変化……………岡崎文規……………1~3
男女の割合と婚姻との関係 特に夫婦年齢差を考慮したる場合の男女
の割合に就て……………{横田年……………5~16
良田圭子

第三卷第八号(昭和17年8月刊行)

〔調査研究〕

- 性の選択意識より生ずる産児調節の存在に関する統計的観察……………笠間尚武……………1~17

英国の対印度植民政策（其の二）	島村俊彦	18~30
第三卷第九号（昭和17年9月刊行）		
〔調査研究〕		
北方圏の民族構成	小山栄三	1~44
第三卷第十号（昭和17年10月刊行）		
〔調査研究〕		
東亜共栄圏人口略説（暫定稿）（一）	館上 田正夫 窪 田嘉彰	1~33
乳児死亡の家族集積性に関する一考察	笠 間 尚 武	35~44
第三卷第十一号（昭和17年11月刊行）		
〔調査研究〕		
独逸における乳児保護対策	岡崎文規	1~34
第三卷第十二号（昭和17年12月刊行）		
〔調査研究〕		
工業規制地域人口現象概要（一）	上田正夫	1~58
第四卷第一号（昭和18年1月刊行）		
〔調査研究〕		
工業規制地域人口現象概要（二）	上田正夫	1~34
第四卷第二号（昭和18年2月刊行）		
〔調査研究〕		
民族優生の目的と方法（一）	横田年	1~7
本邦に於ける結核感染状況竝に之が結核死亡率との関係	良田圭子	8~35
第四卷第三号（昭和18年3月刊行）		
〔調査研究〕		
統徳川時代全国人口の再吟味	関山直太郎	1~10
モンペルトの福祉説について	本多龍雄	11~28
第四卷第四号（昭和18年4月刊行）		
〔調査研究〕		
モンペルトの福祉説について（承前・完）	本多龍雄	1~14
出生率の地域的差異の原因に関する人口生物学的研究——千葉県下に於ける調査——	横田年	15~38
第四卷第五号（昭和18年5月刊行）		
〔調査研究〕		
旧英領マライに於ける民族別産業労働事情について	雪山慶正	1~32
第四卷第六号（昭和18年6月刊行）		
〔調査研究〕		
ブルグドェルファー「独逸統計局の将来人口の予測」に就て	三国一義	1~18
ツァーン「多子家族と保険」	林 茂	18~26

第四卷第七号 (昭和18年7月刊行)

〔調査研究〕

- 結婚持続期間より見たる子女数別夫婦の分布……………岡崎文規……………1~10
- 本邦死産率に関する統計的研究(第一報)……………金子章……………11~25

第四卷第八号 (昭和18年8月刊行)

〔調査研究〕

- 朝鮮における農業人口の性格……………雪山慶正……………1~51

第四卷第九号 (昭和18年9月刊行)

〔調査研究〕

- 地方別に観たる農村住民の出産力……………横田年……………1~11
- 民族混血の研究……………篠崎信男……………12~26

第四卷第十・十一・十二号 (昭和18年10・11・12月刊行)

〔調査研究〕

- 育児費調査結果の概要(一)……………関山直太郎……………1~30
- 妻の職業別出産力調査結果概説(一)……………島村俊彦……………31~56

第五卷第一号 (昭和21年1月刊行)

〔調査研究〕

- 育児費調査結果の概要(二)……………関山直太郎……………1~27

〔資料〕

- モンベルト「戦後の人口政策」に就て……………三国一義……………28~39

第五卷第二号 (昭和21年2月刊行)

〔調査研究〕

- 夫婦関係持続期間と出産力……………岡崎文規……………1~14
- 地域的に見たる我が国生産力の発展と人口の集積……………館稔……………15~45

第五卷第三・四・五・六号 (昭和22年6月刊行)

〔調査研究〕

- 昭和二五年までの推計人口の分析……………

{	館上	}	田	}	正	}	稔	}	}	}	}
	高		木		嘉		夫				

……………1~51

第五卷第七・八・九号 (昭和22年9月刊行)

〔調査研究〕

- 産児制限問題を主題とする若干の人口理論的省察……………本多龍雄……………1~24
- 昭和二十五年までの推計将来人口の改算……………

{	館上	}	田	}	正	}	稔	}	}	}	}
	高		木		嘉		夫				

……………24~47

第五卷第十・十一・十二号 (昭和23年4月刊行)

〔調査研究〕

- 都市人口の発展……………岡崎文規……………1~9
- 年齢別子女扶養費について——第三次育児費調査の結果に関する研究——…三国一義……………10~16
- 産児制限実態調査結果の概要(第一次報告)……………

{	篠	}	崎	}	信	}	男	}	}	}	}
	金		子		和		章				

……………16~32

〔資料〕

社会主義的人口論への一つの手引き——カウッキー晩年の人口論著に

ついて——……………本多龍雄……………33~46

ヘンリー・ウォーレス著「六千萬人の雇傭」……………黒田俊夫……………46~60

第六卷第一号（昭和23年7月刊行）

〔調査研究〕

労務需給の研究（その一）……………岡崎文規……………1~37

子女数別子女扶養費に就いて——第三次育児費調査結果に関する研究

（その二）——……………三国一義……………37~51

〔資料〕

アメリカ人口問題資料（一）

其の一 総説 アメリカ人口問題……………左右田武夫……………52~60

其の二 社会経済的の局面に於ける諸問題……………島村俊彦……………60~83

第六卷第二号（昭和25年9月刊行）

〔調査研究〕

日本人口問題の史的解析——農村人口問題研究のための一序説——……………本多龍雄……………1~29

農業人口適正化の一指標——佐賀県佐賀郡本庄村における中核農家の

動向分析——（農村人口収容力調査中間報告）……………林茂……………30~47

米国社会保障制度の財政経済的研究（一）——改正提案H・R・二八

九三を中心として——……………黒田俊夫……………48~66

わが国における産児制限実行効果の測定——パールの測定法による東

京都下既往調査結果の再集計——……………青木尚雄……………67~73

〔資料〕

アメリカ人口問題資料（二） 其の三 人口生物学的諸問題……………篠崎信男……………別22~56

第七卷第一号（昭和26年5月刊行）

〔調査研究〕

一水田単作村の人口誌的観察——新潟県西蒲原郡黒崎村農村人口収容

力調査報告——……………本多龍雄……………1~15

農業の構造的進化和農業人口——岡山県児島郡興除村における人口圧

力と経済的適応を中心としてみたる農家階層変動の分析——（農村

人口収容力調査中間報告）……………林茂……………16~60

農村人口圧力とその諸形態——岩手県紫波郡飯岡村および香川県木田

郡井戸村——（農村人口収容力調査中間報告）……………中島龍太郎……………61~104

血族結婚部落の優生学的調査概報（第一報）——新潟・長野県境「秋

山郷」調査——……………{篠崎信男……………105~114
{青木尚雄

〔資料〕

イギリス人口委員会報告書……………島村俊彦……………115~133

第七卷第二号（昭和26年9月刊行）

〔調査研究〕

農耕者の出産力に関する統計的観察……………岡崎文規……………1~18

地方における受胎調節の実行効果について——山形県十五市町村のモ

デル調査——	青木尚雄	19~28
開拓政策と人口問題——岡山県児島郡藤田村における入植農家の定着 と人口圧力——（農村人口収容力調査中間報告）	林茂	29~51
血族結婚部落に関する優生学的調査概報（第二報）——千葉県安房郡 七浦村，豊房村調査——	{篠崎信男 良田圭子 青木尚雄	52~66
米国社会保障制度の財政経済的研究（二）	黒田俊夫	67~79
〔資料〕		
毎日新聞社の産制問題を中心とする世論調査について	本多龍雄	80~88
第7巻第3号（昭和26年12月刊行）		
〔調査研究〕		
日本人口の現状分析——「日本人口白書」の発表によせて——	本多龍雄	1~30
東北，関東，中国地方の農山漁村に於ける産児調節実態調査結果報告 ——宮城，岩手，青森，埼玉，岡山県下一町三四ヶ村について——	篠崎信男	31~48
日本における最近の死産	岡崎文規	49~54
〔資料〕		
アメリカにおける産児制限の普及状況に関する最近諸調査の概要	本多龍雄	55~67
移民と経済開発——I・L・O. 移民予備会議を中心として——	黒田俊夫	67~78
第7巻第4号（昭和27年3月刊行）		
〔調査研究〕		
人口と近代的公衆衛生との基本的関係	館稔	1~23
商品作物地帯における農村人口の実態分析——静岡県小笠郡小笠村に おける農家人口の社会的分化を中心として——（農村人口収容力調 査中間報告）	林茂	24~44
〔資料〕		
フランス国立人口問題研究所の概要	岡崎文規	45~46
昭和二四，二五年度産児調節実態調査結果の概報	篠崎信男	46~50
第8巻第1号（昭和27年7月刊行）		
〔調査研究〕		
人口統計学序説——人口統計集団——	館稔	1~28
所謂「自由労働者」の職歴調査——昭和二五年度職業移動調査結果報 告の——	本多龍雄	29~50
〔資料〕		
国際移民統計資料	黒田俊夫	51~55
アルフレッド・ソーヴィー氏「経済と人口」	岡崎文規	55~56
第8巻第2号（昭和27年10月刊行）		
〔調査研究〕		
都市における給料生活者の出産力	{岡崎文規 佐藤寧子	1~9
地域社会の大きさと人口現象	{館上稔夫 田正夫	10~72
〔資料〕		
毎日新聞社の産児調節に関する第二回世論調査	本多龍雄	73~91

一九五〇年の国勢調査の結果に基づく日本婦人の出産力……………岡崎文規……………92~98

第8巻第3・4号(昭和28年2月刊行)

〔調査研究〕

近代人口理論の史的展開(一)……………本多龍雄……………1~29

東京近郊市町村の産児調節普及の実状——地域的性格の分析——……………篠崎信男……………30~52

零細商業者の職業移動調査——昭和二五年度職業移動調査報告の二——……………長澤亮太……………53~67

〔資料〕

カート・スターン「淘汰と優生学」……………青木尚雄……………68~81

第9巻第1・2号(昭和28年11月刊行)

〔調査研究〕

近代人口理論の史的展開(二)……………本多龍雄……………1~22

価値態度体系と人口問題……………小林和正……………23~34

夫婦の結婚年齢差について……………佐藤寧子……………35~43

〔資料〕

アメリカの都市人口……………中島龍太郎……………44~63

第9巻第3・4号(昭和29年3月刊行)

〔調査研究〕

日本の工場工業と工業労働人口……………岡崎文規……………1~25

出生率高低の社会的要因に関する一考察——岡山県下における農村調

査結果報告——……………林 茂……………26~54

第60号(第10巻第1~4号)(昭和30年3月刊行)

〔調査研究〕

わが国最近の出生と死亡の変動が人口構造に及ぼす影響に関する一研

究……………籙 稔……………1~74

第61号(昭和30年8月刊行)

〔調査研究〕

日本における優生政策とその結果について……………岡崎文規……………1~7

高年化現象の人口学的研究(1)……………黒田俊夫……………8~62

〔資料〕

国連世界人口会議の概要……………籙 稔……………63~77

第62号(昭和30年12月刊行)

〔調査研究〕

戦後出産力の分析——昭和27年出産力調査結果の再集計——……………本多龍雄……………1~9

高年化現象の人口学的研究(2)……………黒田俊夫……………10~42

〔資料〕

毎日新聞社人口問題調査会の産児調節に関する第3回世論調査……………本多龍雄……………54~72

第63号(昭和31年3月刊行)

〔調査研究〕

地方別人口増加の統計的観察……………高木尚文……………1~15

青森県下の一後進農業地帯における人口増加の社会経済的与件につい

て——昭和二八年度総合調査結果に基づく一分析——……………皆川 勇……………16~41

安定人口理論における一考察	高木尚文	42~49
〔資料〕		
アジアの人口問題——バンドン人口会議に出席して——	黒田俊夫	50~67
戦前・戦後における安定人口動態率に関する一試算	{高木尚文 高安弘}	68~75

第64号 (昭和31年5月刊行)

〔調査研究〕		
平均余命曲線の型について(1)	舘稔	1~14
農村相続世帯における家族サイクルの諸段階	小林和正	15~37
一水田米作村における医学検診結果の概要——山梨県中巨摩郡玉穂村における昭和30年度人口学的総合調査結果の部分報告——	荻野嶋子	38~52
〔資料〕		
農林省の臨時農業基本調査(昭和30年2月)結果の概要について	林茂	53~74

第65号 (昭和31年8月刊行)

〔調査研究〕		
“Cologistic” 曲線の二三の適用例——わが国の2集落の事実について	舘稔	1~11
江戸時代農村住民の生命表	小林和正	12~23
〔資料〕		
PEP報告書「世界の人口と資源」	小林和正	24~57

第66号 (昭和31年12月刊行)

〔調査研究〕		
近代的労働者階級のデモグラフィ的観察——大工場工員とその世帯についての調査結果の概要——	本多龍雄	1~27
平均余命曲線の型について(2)	舘稔	28~44
〔資料〕		
労働力人口の推移傾向について	本多龍雄	45~54

第67号 (昭和32年2月刊行)

〔調査研究〕		
東京都下の小・零細企業従業者に関する調査結果報告(1)	宮川實	1~18
平均余命曲線の型について(3)	舘稔	19~29
〔資料〕		
地域社会の大きさと人口の実質的増加	上田正夫	30~48

第68号 (昭和32年6月刊行)

〔調査研究〕		
差別出産力について	本多龍雄	1~31
東京都下の小・零細企業従業者に関する調査結果報告(2)	宮川實	32~41
〔資料〕		
都道府県別にみた地域社会の大きさと実質的人口増加の様相	上田正夫	42~64

第69号 (昭和32年10月刊行)

〔調査研究〕

青年期人口の地域的分析(1)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	1~32
機械化農村における人口収容の形態——岡山県児島郡興除村実態調査 報告——	林 茂	33~58

第70号 (昭和32年12月刊行)

[調査研究]

青年期人口の地域的分析(2)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	1~20
毎日新聞社の産児調節に関する第4回世論調査の結果について	本 多 龍 雄	21~54

[資料]

アジアおよび極東人口教育調査地域センターと開所会議の概況報告	館 稔	55~81
--------------------------------------	-----	-------

第71号 (昭和33年3月刊行)

[調査研究]

結婚パターンの変動とその出生力に及ぼす影響の人口学的分析——出 生力決定要因研究プログラムの一環として——	黒 田 俊 夫	1~23
自殺傾向について	佐 藤 寧 子	24~33
青年期人口の地域的分析(3)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	34~56

第72号 (昭和33年5月刊行)

[調査研究]

結婚年齢別にみた差別妊娠力の統計的分析	篠 崎 信 男	1~17
Demographic Influence の理論とその日本における適用について	濱 英 彦	18~30
青年期人口の地域的分析(4)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	31~46

第73号 (昭和33年9月刊行)

[調査研究]

結婚変動の静態的、動態的観察——日本における結婚の人口学的分析——	黒 田 俊 夫	1~38
人工妊娠中絶と出生序列比の変化	佐 藤 寧 子	39~43
青年期人口の地域的分析(5)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	44~74

[資料]

アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第1回会合概 況報告	館 稔	75~84
--	-----	-------

第74号 (昭和33年12月刊行)

[調査研究]

自殺の実証的研究(I)	岡 崎 文 規	1~36
人工妊娠中絶と不妊手術の実態的研究——和歌山県下における面接調 査結果の統計的分析——	篠 崎 信 男	37~62
青年期人口の地域的分析(6)	{ 館上濱 田 正英 稔夫彦	63~84

第75号 (昭和34年3月刊行)

〔調査研究〕

自殺の実証的研究(Ⅱ)……………	岡崎文規……………	1~26
事故死の統計的観察……………	佐藤寧子……………	27~34
青年期人口の地域的分析(7)……………	{ 館上濱 田正英 稔夫彦……………	35~63

第76号 (昭和34年5月刊行)

〔調査研究〕

青年期人口の地域的分析(8)……………	{ 館上濱 田正英 稔夫彦……………	1~40
---------------------	--------------------	------

〔資料〕

第10回国際連合人口委員会概況報告……………	館 稔……………	41~75
------------------------	----------	-------

第77号 (昭和34年8月刊行)

〔調査研究〕

昭和32年第3次出産力調査結果の概要……………	本多龍雄……………	1~24
青年期人口の地域的分析(9)……………	{ 館上濱 田正英 稔夫彦……………	25~50

〔資料〕

アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第2回会合概況報告……………	館 稔……………	51~59
毎日新聞社人口問題調査会の産児調節に関する第5回世論調査——調査結果の概要——……………	本多龍雄……………	60~88

第78号 (昭和34年12月刊行)

〔調査研究〕

戦前戦後の夫婦出産力における出生抑制効果の分析——とくに中絶と避妊の抑制効果について——……………	本多龍雄……………	1~19
青年期人口の地域的分析(10)(完)……………	{ 館上濱 田正英 稔夫彦……………	20~42

〔資料〕

カラチ人口セミナー報告……………	黒田俊夫……………	43~80
------------------	-----------	-------

第79号 (昭和35年6月刊行)

〔調査研究〕

家族の続柄別にみた農業と兼業従事状況の考察——岡山県児島郡興除村実態調査報告——……………	林 茂……………	1~24
---	----------	------

〔資料〕

近代形式人口学の発展(1)……………	館 稔……………	25~44
Coale および Hoover によるインドの将来人口の推計……………	小林和正……………	45~62

第80号 (昭和35年9月刊行)

〔調査研究〕

日本人口の出生力に関する研究(1)……………	黒田俊夫……………	1~24
日本人夫婦に関する結婚の生命表 付 配偶関係別生命表:1955……………	河野 稯 果……………	25~42

〔資料〕

近代形式人口学の発展（２）……………館 稔……………43～75

第81号（昭和35年12月刊行）

〔調査研究〕

日本人口の出生力に関する研究（２）……………黒田俊夫……………1～22

〔資料〕

“新しい国の進歩のための科学に関する国際会議”概況報告……………館 稔……………23～37

“アジアおよび極東における人口センサス・データの評価と利用に関する国連セミナー”概況報告……………小林和正……………38～55

“遺伝学および放射能研究のための人口動態統計ならびに疾病統計の利用に関するセミナー”出席報告……………黒田俊夫……………56～62

第82号（昭和36年3月刊行）

〔調査研究〕

所得と人口との地域分布（１）……………{館 稔
{小山美紗子……………1～17

日本人口の出生力に関する研究（３）……………黒田俊夫……………18～63

第83号（昭和36年7月刊行）

〔調査研究〕

わが国世帯数の将来推計：一試算……………河野稠果……………1～13

就業構造の理論と実証……………岡崎陽一……………14～30

血族結婚部落に関する生体人類学的研究（１）……………篠崎信男……………31～70

第84号（昭和36年12月刊行）

〔調査研究〕

血族結婚部落に関する生体人類学的研究（２）……………篠崎信男……………1～79

〔資料〕

アジアおよび極東人口教育調査地域センター諮問委員会第3回会合概況報告……………館 稔……………80～92

第85号（昭和37年7月刊行）

〔調査研究〕

マッケンロートの人口理論——その紹介ならびに社会学的・人口学的検討——（１）……………皆川勇一……………1～44

第86号（昭和37年12月刊行）

〔調査研究〕

農業近代化と農業人口……………林 茂……………1～33

マッケンロートの人口理論——その紹介ならびに社会学的・人口学的検討——（２）……………皆川勇一……………34～59

第87号（昭和38年3月刊行）

〔調査研究〕

マッケンロートの人口理論——その紹介ならびに社会学的・人口学的検討——（３）……………皆川勇一……………1～24

〔資料〕

「第7回国際家族計画会議」概況報告……………篠崎信男……………25～43

第88号（昭和38年7月刊行）

〔調査研究〕

マッケンロートの人口理論——その紹介ならびに社会学的・人口学的

検討——（4）（完）……………皆川勇一……………1～23

府県間人口移動の要因分析：1956年と1961年……………河野稠果……………24～51

第89号（昭和38年11月刊行）

〔調査研究〕

日本における出生率低下の分析……………岡崎陽一……………1～14

世代別血縁関係に関する一考察——大工場従業員における研究——……………{篠崎信男
萩野嶋子……………15～29

〔資料〕

アメリカ合衆国での人口学研究——プリンストン大学人口学講義を中

心として——……………岡崎陽一……………30～47

〔統計〕

都道府県別、女子の年齢別特殊出生率、粗再生産率および総出生率：

昭和35年および5年の比較……………山口喜一……………48～58

第90号（昭和39年3月刊行）

〔調査研究〕

昭和37年第4次出産力調査結果の概要（その1）……………青木尚雄……………1～54

〔資料〕

人骨の推定死亡年齢に基づく寿命研究の状況……………小林和正……………55～63

第91号（昭和39年6月刊行）

〔調査研究〕

わが国人口問題の現局面の分析——巨大都市圏への人口の移動集中現

象を中心として——……………本多龍雄……………1～28

農家労働力の流出と後継者確定の形態……………林茂……………29～55

〔資料〕

日本の将来人口——昭和39年6月推計の方法と結果について——……………濱英彦……………56～63

第92号（昭和39年9月刊行）

〔調査研究〕

都道府県別出生と人口移動との関係に関する一研究……………上田正夫……………1～22

地域労働力人口の構造とその変動……………黒田俊夫……………23～31

農家経営主・あとつぎ兼業化問題の地域別考察……………皆川勇一……………32～42

大都市における migrants と non-migrants の生活行動と意識……………内野澄子……………43～53

〔資料〕

ミンスクにおける国連主催「工業化の社会的側面に関する地域間セミ

ナー」概況報告……………{河野稠果
高橋辰子……………54～60

第93号（昭和40年1月刊行）

〔調査研究〕

人口資質理論の追求——人間観問題を中心として——	篠崎信男	1~18
昭和37年第4次出産力調査結果の概要(その2)	青木尚雄	19~39
地域別にみた近年の老人死亡	荻野嶋子	40~48
労働力人口の産業別健康度——昭和39年度実地調査結果中間報告——	{宮川昭實 米田昭子	49~56
〔資料〕		
離婚に関する統計的一考察	中野英子	57~61
第94号(昭和40年4月刊行)		
〔調査研究〕 特集 日本のメガロポリス		
日本におけるメガロポリスの人口学的研究序説	館稔	1~10
日本におけるメガロポリスの画定	濱英彦	11~25
人口集積からみた太平洋沿海・瀬戸内沿海メガロポリスの形成	上田正夫	26~48
〔書評〕		
アイオワ州立大学農業・経済調整センター『労働移動と農業人口』(皆川勇一)		49
ロナルド・フリードマン「出生力の社会学」(河野稠果)		50
〔統計〕		
人口再生産諸率に関する算定結果:昭和36, 37年を中心とする	山口喜一	51~61
第95号(昭和40年7月刊行)		
〔調査研究〕 特集 日本のメガロポリス(続)		
人口移動からみたメガロポリスの形成とその問題点	黒田俊夫	1~10
人口移動からみたメガロポリスの特徴	河野稠果	11~20
メガロポリス形成と農業・農村の構造変化	{皆川勇一 高橋辰子	21~35
昭和37年第4次出産力調査結果の概要(その3)	青木尚雄	36~51
〔書評〕		
アンズレイ・J・コール, メルヴィン・セルニック『アメリカ合衆国における出生率および人口の新推計』(岡崎陽一)		52
H・S・シュライアック『アメリカ合衆国の人口移動』(黒田俊夫)		53
第96号(昭和40年10月刊行)		
〔調査研究〕		
労働力人口の変動と産業構造の変化について	岡崎陽一	1~11
家系図資料による人口再生産構造の研究——下北地方一農村部落調査より——	小林和正	12~25
昭和37年第4次出産力調査結果の概要(その4)(完)	青木尚雄	26~35
〔資料〕		
昭和38年を中心とするわが国の人口再生産諸率	山口喜一	36~48
〔書評〕		
安川正彬『人口の経済学』(館稔)		49
ブライアン・J・L・ベリー「都市地理学における新分野」(濱英彦)		50
第97号(昭和41年1月刊行)		
〔調査研究〕		

現代都市化理論の展望	河野 稠 果	1~12
農家労働力の流入形態——その実態と問題点——	林 茂	13~24
人口資質の観点からみた消費分析ノート	宮川 實	25~33
第2回国連世界人口会議と人口学の発展：		
第2回国連世界人口会議の概要	館 稔	34~40
経済発展と人口増加	岡崎 陽 一	41~44
技術人口学の発展	河野 稠 果	45~49
人口移動の現状と研究	黒田 俊 夫	50~54

〔書 評〕

金 哲『韓国の人口と経済』(館 稔)	55
T・H・ホリングスワース「英国貴族に関する人口学」(小林和正)	56

第98号 (昭和41年4月刊行)

〔調査研究〕

わが国労働力人口の現状と将来予測	{濱山 英 彦 本 千鶴子	1~15
低開発農村における人口変動と生活構造——東北・岩泉調査——	内野 澄 子	16~28
子どもの体位のコーホート分析	中野 英 子	29~38
人口資質問題をめぐる生活人類学的展望	篠崎 信 男	39~50

〔書 評〕

ラリー・K・Y・NG, スチュアート・マッド編『人口危機, 意義と対策』(館 稔)	51
N・アンダーソン編『アーバニズムと都市化』(上田正夫)	52

第99号 (昭和41年8月刊行)

〔調査研究〕

経済成長と農漁業人口の変動	{林井 上 隆 皆 川 勇 一	1~15
高度成長下における農家労働力市場の変化とその問題点	皆川 勇 一	16~31
不就学および特殊就学児童生徒の実態について	青木 尚 雄	32~46
わが国の母性死亡の構造とその変遷	荻野 嶋 子	47~56

〔書 評〕

スタンレー・L・フリードランダー『労働力移動と経済発展——ポルト・リコの事例的研究——』(黒田俊夫)	57
村松稔, ポール・A・ハッパー(編)『ポピュレーション・ダイナミックス』(宮川 實)	58